

不適合情報

2016年11月18日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	原子炉安全の観点から見たグレード
1	1号機	電源盤点検作業のため養生板を取り付けていた協力企業作業員が、誤って隣接する低圧電源盤の操作スイッチに当該養生板を接触させたため、低圧電源盤に繋がる下流側の電源が停止したことを確認した。設備に異常がないことを確認し電源を復旧済み。当該事象の原因を調査し、再発防止対策を検討。なお、電源停止した機器類に待機要求はなく、原子炉安全上の問題はない。	G III 以下

3. G III グレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	1号機	原子炉建屋外気差圧計(B)の点検時、当該計器の校正前誤差が管理値を超えていることを確認した。当該計器を修理。	
2	2号機	原子炉水位警報器の点検時、当該計器の入力値に変動を確認した。当該計器を修理。	
3	5号機	管理区域用マスク性能試験装置の動作不良を確認した。当該装置を点検・修理。	
4	5号機	大湊側洗濯設備所内蒸気系配管および戻り系配管の点検時期を変更する過程で、点検周期が予め定めた期間を超えてしまうことを確認した。当該変更の影響を評価済み。	
5	6号機	A系プロセス放射線モニタの異常を示す警報が発生し、A系排気筒放射線モニタ、A系非常用ガス処理系排ガス放射線モニタおよび各プロセス放射線モニタ指示値が、一時的に下限値になりその後通常値に戻ったことを確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。なお、当該排気筒放射線モニタ等はB系にて監視中であり欠測なし。	